

VII 地域教育研究センター

地域教育研究センターは、本学が、社会に貢献する大学として、地域コミュニティに根ざし、また、未来を拓く「知の拠点」としての役割の強化並びに本学の教育理念である「地域社会志向教育」を実現するために、平成24年4月に設置された。

1. 地域教育研究センターは、中山間対策など高知県や地域が抱える現状や課題、ニーズを把握し、県・市町村や地域の諸組織、本学卒業生などとともに本学との協働体制を構築し、機能させる仕組みづくりを行い、全学体制で課題解決に取り組む。
2. 地域課題に関する情報を入手できる環境を整備し、学生が主体的に行動できるよう、プログラムや支援体制を充実させる。
3. 公開講座、県民開放授業、履修証明プログラム、科目等履修生制度等を活用し、県民が学び続けることのできる生涯学習プログラムを構築し、実施する。
4. 専門職者を対象とする研修会やリカレント教育を実施し、最新の知識や高度な技術を伝え、専門職者の力量アップを支援する。
5. 地域の教育機関や行政等との連携を図り、共同事業等を通じて、児童や生徒の学問に対する興味や関心を高めるための公開講座や出前講座等の学習支援活動を実施する。

<事業実施状況>

【履修証明プログラム】

平成26年度から「履修証明プログラム」を開始している。
令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、募集中止となった。

【高知県立大学県民開放授業】

県民開放授業は、平成14年度後期から、文化学部の公開講座の一つとして始まった。平成25年度には、地域教育研究センターが「AERU県民公開授業」を開始した。平成26年度からは、上記2つの事業を統合し、「高知県立大学県民開放授業」を実施している。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、募集中止となった。

【高大連携事業】

(1) 小・中・高等学校への出前講座

学問に対する興味・関心を高め、大学で学ぶことの魅力や楽しさについて知っていただくことを目的に、高知県内の小・中・高等学校の児童、生徒を対象に、出前講座を実施している。

延べ受講者数:628人

| 実施校名 | 実施日 | 対象者 | 受講者数 |
|--------------|----------------|-------------|------|
| 高知追手前高等学校 | 令和2年6月27日(中止) | 高校1・2年生 | - |
| 高知北高等学校(昼間部) | 令和2年8月28日 | 高校1・4年生 | 10 |
| 安芸高等学校 | 令和2年10月21日 | 全校生徒 | 111 |
| 高知北高等学校(夜間部) | 令和2年10月29日 | 高校2年生 | 12 |
| 高知学芸中学高等学校 | 令和2年10月23日 | 中学3年生・高校1年生 | 47 |
| 山田高等学校 | 令和2年11月4日 | 高校2年生 | 40 |
| 土佐女子高等学校 | 令和2年11月11日 | 高校1・2年生 | 134 |
| 高知北高等学校(昼間部) | 令和2年11月11日 | 高校2年生 | 78 |
| 高知追手前高等学校 | 令和2年11月14日 | 高校1・2年生 | 68 |
| 岡豊高等学校 | 令和2年11月26日 | 高校2年生 | 60 |
| 宿毛高等学校 | 令和2年12月11日(中止) | 高校2年生 | - |
| 北陵中学校 | 令和3年1月26日 | 高校2年生 | 68 |

(2) 高校生のための公開講座

高校生が、大学の教育・研究に触れ、学問に対する興味・関心を深め、学びの楽しさについて知っていただくことを目的に実施している。

延べ受講者数:52人

| 内 容 | 実施日 | 対象者 | 受講者数 |
|---------------------------|------------|-----|------|
| 「第3回県大立志塾2020」 | | | |
| ①高知県の地域課題をどう認識するか | 令和2年12月12日 | 高校生 | 17 |
| ②人生100年時代がやってくる！人生会議ってなに？ | 令和3年1月24日 | 高校生 | 15 |
| ③いまできること～災害に備える～ | 令和3年3月6日 | 高校生 | 20 |

【地域教育研究センター主催公開講座】

「知の拠点」として、県民を対象とした公開講座を随時開催している。

延べ受講者数:348人

| 内容・講師 | 実施日 | 対象者 | 受講者数 |
|-------------------------------------|-----------|-----|------|
| 「豊かな暮らしにつながる学び」 | | | |
| ①豊かな暮らしのために備えておきたい非常食 | 令和3年2月3日 | 一般 | 95 |
| ②高知の自由民権－新聞を通して150年前の人々の暮らしと思想に触れる－ | 令和3年2月10日 | 一般 | 64 |
| ③地域生活課題の多様化と地域共生社会－住民主体のまち・むらづくり－ | 令和3年2月17日 | 一般 | 91 |
| ④感染症と人々の暮らし | 令和3年2月24日 | 一般 | 98 |

【第37回「本山町・高知県立大学公開講座」協定書に基づく公開講座】

本山町と本学で公開講座協定書を締結し7回の公開講座を行った。5講座以上受講した方に、修了証書を発行した。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、6回目の講座は中止となった。

延べ受講者数:86人(第6回講座除く)

| | 「夜学」全8回 講座内容 | 実施日 | 対象者 | 受講者数 |
|---|----------------------|------------|-------|------|
| 1 | 開校式 ホンモノの日本は高知にある | 令和2年8月25日 | 本山町民他 | 17 |
| 2 | 免疫と栄養・食生活 | 令和2年9月15日 | 本山町民他 | 19 |
| 3 | 源氏物語 | 令和2年10月19日 | 本山町民他 | 10 |
| 4 | 医療情報の探し方 | 令和2年11月18日 | 本山町民他 | 11 |
| 5 | 海洋深層水のウソとホント | 令和2年12月2日 | 本山町民他 | 11 |
| 6 | セルフケア | 令和2年12月22日 | 本山町民他 | 中止 |
| 7 | 心理学ワールド | 令和3年1月25日 | 本山町民他 | 8 |
| 8 | 閉校式 人生会議 | 令和3年2月19日 | 本山町民他 | 10 |

【立志社中】

平成25年度から、地域の課題解決に主体的に取り組む学生を大学として支援する「立志社中」をスタートさせた。令和2年度は、8件のプロジェクトを採択した。

(1) 令和2年度採択プロジェクト「立志社中」

| プロジェクト名 | チーム名 | 交付額(利息含) [執行額] |
|-------------------------------|-----------------------|-----------------------|
| 池地域まるごとサロン活動 | いけいけサロン活動 | 70,000円 [6,881円] |
| 地域と今できること | Pシスターズ | 130,000円 [52,497円] |
| みんなで支えあう「共生社会」を目指して | かんきもん | 85,700円 [19,880円] |
| それいけ！大野見エコ米～No Rice, No Life～ | COME☆RISH | 49,018円 [5,457円] |
| グローバルライフ | グローバルクラブ | 93,100円 [2,488円] |
| 健援隊Limaプロジェクト | 健援隊Bravo・Charlie合同チーム | 12,480円 [8,327円] |
| 結い直しプロジェクト | 活輝創生実行委員会 | 138,000円 [17,210円] |
| 里山文化再生プロジェクト | しらいしの風 | 42,620円 [0円] |

(2) その他実施事業

| 事業名 | 実施時期 | 詳細 |
|---|------------|---|
| プレゼンテーション及び審査会 | 令和2年8月1日 | 応募のあった8件のプロジェクトについて、プレゼンテーション及び審査会を実施し、採択プロジェクトを決定した。 |
| 第1回スキルアップセミナー 「持続可能な社会とESD」 講師:名古屋市立大学人間文化 研究科 准教授 曾我 幸代 氏 | 令和2年12月12日 | 「持続可能な開発目標 (SDGs)」が「持続可能な開発(発展)のための教育 (ESD)」から「ミレニアム開発目標 (MDGs)」を経て国連サミットにて採択されるまでの流れとともに、「SDGs」がどのようなものであるかについてご講演いただいた。 |
| 活動成果報告会 | 令和3年3月7日 | 各プロジェクトの活動を報告・評価し、成果や課題を共有することを目的として開催した。 |

【令和2年度全国公立大学学生大会 LINKtopos 2020への参加】

8回目を迎えるLINKtoposは、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から初めてオンラインでの開催となった。全国16の公立大学から61人の学生・教職員が参加し、本学からは立志社中に所属している2人の学生が運営に携わりながら、全国の公立大学の学生と交流した。

テーマ : 「再考」
日 時 : 令和2年9月26日(土)
場 所 : 岡山県立大学(オンライン開催)

【コミュニティサービスラーニング(CSL)サポートデスク】

地域の抱える課題を認識し、課題解決への関心を高めた学生が、専門的な知識や技術など大学での学びの成果を活かして、域学共生の理念に基づき、ボランティア活動を行うコミュニティサービスラーニングを支援することを目的とするための窓口として、平成28年度に設置された。

延べ参加者数:33人

| 概要 | 受入先 | 件数 | 参加学生数 |
|-----------------|--------------|----|-------|
| 小津高校SSH事業課題研究TA | 高知県立高知小津高等学校 | 1 | 13 |
| 小・中学校での学習支援 | 津野町教育委員会(夏季) | 1 | 15 |
| 小・中学校での学習支援 | 三原村教育委員会(夏季) | 1 | 5 |

【包括連携協定】

本協定は、各市町村や企業・NPO法人等の団体と本学が多様な分野で緊密な協力関係を築き、持続・発展的に連携を深めることにより、未来を担う人材の育成や活力ある地域社会の形成・発展に寄与することを目的とする。

協定締結団体との連携

| 団体名 | 事業名 | 期間 | 概要 | 参加者等 |
|-----|---------------|---------------------------------|--------------------|------|
| 津野町 | 学習支援ボランティアの派遣 | 令和2年8月24日-28日 令和2年8月31日-9月4日 | CSLサポートデスク (再掲) | 15 |
| 三原村 | 学習支援ボランティアの派遣 | 令和2年8月24日-29日 | CSLサポートデスク (再掲) | 5 |

【協力団体との連携強化に向けた取り組み】

連携の強化に向けて、高知県や市町村、学生受入団体等との情報交換を定期的に行っている。

| 内容 | 開催時期・訪問先 |
|---|---|
| 連携推進会議(包括連携協定の締結自治体・高知県立大学) ※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、集合会議を中止し、各自自治体を訪問した。 | 令和2年12月21日:安芸市、香美市 令和3年1月14日:佐川町、津野町 令和3年1月15日:三原村 令和3年1月18日:高知市 |
| ご意見番会議 (佐川町尾川地区活性化協議会) | 令和3年1月14日:佐川町 |